



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

FAO（国際連合食糧農業機関）日本事務所
2010年8月31日

LOJAPR10/22-No. 171

プレスリリース

小麦が食料価格上昇を招く ―FAO 食料価格指標が8月に5%上昇―

2010年8月31日、ローマ - 小麦価格の上昇によって、先月、国際食料価格が前月比で5%上昇したが、これは2009年11月以降で月単位で最大の上昇幅であるとFAOは発表した。

8月のFAO食料価格指標（FFPI）は平均176ポイントであり、これは7月値より約9ポイントの上昇である、と最新の世界穀物需給状況においてFAOは述べた。この上昇―5%―により、指標は2008年9月以降の最高値となったが、依然として2008年6月に記録したピーク値よりは38%低い。

FFPIの上昇は、主に、ロシア連邦における旱魃に伴う同国の小麦販売規制による国際小麦価格の急激な上昇を反映している。しかしながら、砂糖や油糧種子価格の上昇も要因に含まれる。

世界穀物生産

最新のFAOの見通しでは、2010年世界穀物生産量は、6月に報告した2,279百万トンから41百万トン減少して、2,238百万トンになると予測している。

しかしながら、このような生産見通しの引き下げにもかかわらず、2010年の世界穀物生産は、過去3番目に高い水準であり、最近5年の平均値を上回る。主要穀物の中で、小麦が減産の主たる要因であり、天候不良による独立国家共同体の主要生産国の生産減少を反映している。

現時点での予測に基づけば、世界の穀物利用量は2010―2011年において、若干生産量を上回ることになる。このため、世界の期末在庫は、ここ8年の最大の期初在庫から約2%減少し、世界の在庫率は若干の減少となる。しかしながら、23%という在庫率は、2007―2008年に経験した19.5%という数値よりも、依然として高い。

小麦生産

本年の小麦生産は、8月4日発表の2010年の世界小麦生産予測から更に減少し、2009年に比べ5%減少の646百万トンと見られるが、この予測値でも、依然としてこれ迄で三番目に高い水準である。最新の予測修正では、本年のロシア連邦での生産量を43百万トン（8月当初では48百万トン）と推定し、アメリカや中国を含む他の諸国における穀物生産上昇分をこの減少が相殺する以上になっている。

2011年における世界の小麦の期末在庫予測も同様に下方修正され、過去8年で最高の期初在庫から9%減少の181百万トンと予想される。2010-2011年の在庫率については、昨シーズンから3%減少の27%と推定されているが、この数値でも過去30年間で最低を記録した2007-2008年の数値より5%高い。

粗粒穀物と米市場はより均衡がとれている

粗粒穀物生産量は、6月に発表された数値より6百万トン少ない1,125百万トンと推定されるが、依然として2009年を若干上回り、過去二番目に高い数値である。トウモロコシ生産は、記録的な中国・米国での生産予測もあり、過去最高の845百万トンに達する勢いである。

しかしながら、大麦生産については、2010年には、22%減少し、過去30年来最低値の129百万トンにしか達しないと見られている。これは、悪天候による独立国家共同体やヨーロッパ連合での不作によるものである。

2010年の米生産予測も下方修正され、2010年6月推定値より5百万トン少ない467百万トンと見られるが、依然として2009年生産より3%多く、記録的な生産である。

殆どの修正は、パキスタンの洪水被害によるものであるが、中国、エジプト、ラオス、フィリピンでの生産量予測の低下にもよる。

世界の穀物市場における昨今の変動については、9月24日にローマのFAO本部で開催される政府間穀物グループ及び政府間米グループの1日間の特別会合において、討議される予定である。

英文 URL: <http://www.fao.org/news/story/en/item/45006/icode/>